

報道関係者各位

ベトジェット タイランド 2026 年 2 月より 東京（成田）および大阪（関空）へ直行便を就航



ベトジェット タイランドは、2026 年 2 月より日本とタイを結ぶ新たな直行便の運航を開始することを発表いたしました。本路線の導入により、観光およびビジネス双方における需要の高まりに応え、両国間の利便性を大幅に向上させます。また本路線には、ベトジェット タイランドの新世代機であるボーイング 737-8 型機を投入いたします。最新のテクノロジーを搭載した同機体により、お客様に安全で快適、かつ環境に配慮した空の旅を提供いたします。

ベトジェット タイランドは、現在までに 8 機のボーイング 737-8 型機を受領し、ネットワーク全体への配備を完了しています。これにより、以下の 2 路線で直行便サービスを提供します。

1. 東京（成田） – バンコク（スワンナプーム）線

- ・ 往路 (VZ831) : 2026 年 2 月 2 日就航 成田発 08:55 → バンコク着 14:30
- ・ 復路 (VZ830) : 2026 年 2 月 1 日就航 バンコク発 23:55 → 成田着 07:55 (翌日)

Thai Vietjet Air Joint Stock Co.,Ltd

1-062 Concourse A- Suvarnabhumi Airport
999 Moo 1, Rachathewa, Bang Phli,
Samut Prakan - 10540

Tel +662 134 3540
Fax +662 134 3541

Enjoy Flying!

2. 大阪（関西）－バンコク（スワンナプーム）線

- ・ 往路 (VZ821) : 2026年2月3日就航 関西発 08:55 → バンコク着 13:30
- ・ 復路 (VZ820) : 2026年2月3日就航 バンコク発 00:25 → 関西着 07:55

ベトジェット タイランドの Vice President of Commercial and Customer Service であるピンヨット・ピプソングラム氏は次のように述べています、

「ボーイング 737-8 型機の導入により、安全性とお客様の快適性における高い基準を維持しながら、長距離の路線をより効率的に運航する能力が向上しました。この機材は、将来的なさらなる目的地へのサービス拡大計画を支えるものもあり、ベトジェット タイランドのネットワークを一層強化し、地域全体でより多くの旅行の選択肢を提供することにつながります」

新型のボーイング 737-8 型機は、189 席という高い座席収容力を備え、「ボーイング・スカイ・インテリア」、現代的な LED 照明、そしてより大きな頭上荷物棚によってお客様の快適性を向上させています。LEAP-1B エンジンを搭載し、先進的な航空力学設計を取り入れたこの機体は、燃費効率を改善し、騒音レベルを低減させるとともに、国際民間航空機関 (ICAO) の基準に準拠した持続可能な航空燃料 (SAF) の使用をサポートしており、これらはベトジェット タイランドの機材拡張計画の一環となっています。

東京（成田）および大阪（関西）への直行便の就航は、ベトジェット タイランドの国際的な成長における新たな重要な節目であり、レジャーおよびビジネス双方のお客様からの高まる需要に応えるため、タイと日本間の航空接続を強化するものです。同航空は、長期的な持続可能成長を支えるため、着実なネットワーク拡大とともに、一貫したサービスの提供に引き続き注力してまいります。

###

ベトジェット タイランドについて：

2014年に設立されたベトジェット タイランドは、ベトジェットと共にフライトネットワークを拡大し、タイならではの温かなホスピタリティと、遊び心のあるサービスを通じて、お客様がタイやその他の国々を訪問するためのより多くの機会を提供してきました。コスト管理能力、効果的な運営、およびパフォーマンスに重点を置き、同航空会社は多様なサービスとともに、費用を抑えた柔軟な運賃でフライトの機会を提供し、顧客の需要に応えています。

ベトジェット タイランドは、グローバル・ブランド・アワード 2025において「Best Low-Cost Airline Brand, Thailand 2025」を受賞したほか、インターナショナル・ファイナンス・マガジンより「Most Passenger-Friendly Cabin Crew – 2025」に選出されました。

これらは「おもてなしの航空会社」としての地位を強調し、「フレンドリー＆ファン（Friendly & Fun）」、そして「安全、定時運行、手頃な価格」という核となる価値観を強化するものです。さらに、ベトジェット タイランドは「HR Asia Best Companies to Work for in Asia 2025」の一つとして認められ、ポジティブな職場文化と従業員満足度への取り組みが評価されました。また 2025 年には、持続可能な観光へのコミットメントにより、第 15 回タイ観光大賞で名誉ある「キンナリー賞（Kinnaree Award）」を受賞し、TCCTA コンタクトセンター・アワード 2025においても、優れたカスタマーサービスにより 3 つの賞を受賞しています。

現在、ベトジェット タイランドはタイ国内 11 路線を運航しており、これにはバンコク（スワンナプーム）発のチェンマイ、チェンライ、プーケット、クラビ、ウドンタニ、ハジャイ、コンケン、ウボンラチャタニ、スラタニ行きのほか、プーケットからチェンマイおよびチェンライを結ぶ地域間のフライトが含まれます。

また、アジア太平洋地域の多くの目的地へ国際線ネットワークを積極的に拡大しており、タイと日本、中国、ベトナム、台北、カンボジア、インド、韓国、および地域内のその他の主要な目的地を結んでいます。

詳細については、www.vietjetair.com をご覧ください。